ボランティア活動の現場を訪ねて！

厚別区社会福祉協議会では区内にある高齢者、障がい者、児童等様々な分野の福祉施設からご依頼を受け、ボランティア活動を希望する方へのご紹介（コーディネイト）を行っています。はじめてボランティア活動を希望される方の中には「福祉施設が具体的にどんな所かわからなくて不安」という方や、「どんな人たちが実際に活動しているんだろう」と思われたりする方が多数いらっしゃいます。そんな疑問にお答えするため、今回は厚別区内のボランティア受入施設と、そこでのボランティア活動の様子をご紹介いたします。

札幌徳洲会病院

〒004-0041　厚別区大谷地東１丁目１－１
TEL：011-890-1604

ボランティア担当者の小山内さんにお話をお伺いしました

徳洲会病院では現在 19 名のボランティアさんに登録していただいています。仕事をしながらでも参加できる活動等、ボランティアさんのご都合に合わせた対応をしているので活動の形態は様々です。ボランティアさんには活動が負担にならないように 15 分に１度ローテンションで休憩したり、ボランティア室を自由に使っていただいたりしています。

また、ボランティアさんから活動を報告してもらったり、連絡ノートを作成するなど、改善点や意見を聞いたりしています。ボランティアさんからの声は大変貴重で参考になります。

これからもボランティアさんからの声を大切にボランティア募集をしていきたいと思っています。

担当職員 小山内さん

ボランティア活動者の楢舘（ならだて）さん、森さん、日角（ひかく）さんにお話を伺いました。

Q. ボランティア活動をしていて、よかったことは何ですか？

A. 直接役に立ったかどうかがすぐ分かって嬉しいです。「ありがとう」という言葉が何より嬉しいです。毎日よかったこと探しが出来るようになりました。

精算機の使い方を説明するボランティアさん

Q. ボランティア活動を実際にしてみてどうですか？

A. 半日の活動だから、家のこともおろそかにならず続けられています。ここでボランティア活動することによってちょっとずつ外に目を向けられるようになり、最近は研修などにも積極的に参加しています。いろいろなことに参加できているという実感を得られるようになりました。

ボランティアルームの様子

介護予防センターもみじ台　すこやか倶楽部

〒004-0007　厚別区厚別町下野幌 38－18　TEL：011-898-8660

介護予防を超えて、「生きがい」づくりのために。

病気や障害に関わらず、地域の方々が交流できるようにと、厚別老人保健施設ディ・グリューネンを会場に、平成７年 10 月、川柳教室が始まりました。現在は、介護予防にも役立つ活動として、介護予防センターもみじ台が開催しています。毎月概ね第３水曜日午後、川柳をつくり、交流しています。運営は、地域のボランティアさんが担っています。中心メンバーの三浦さんは、開始当初より 20 年、毎月欠かさず活動を続けています。ボランティアさんにとっても、参加者のみなさんにとっても川柳教室は、介護予防を超えた「生きがい」となっています。教室は無料、経験問わず、しがらみなし、初心者大歓迎、興味があれば、どなたでも参加できます。

担当職員 林さん

川柳ボランティアの三浦さんにお話を伺いました。

Q. ボランティア活動をはじめたきっかけはなんですか？

A. 私白身、会社の同僚が通っていた川柳教室について行き、難しかったけれども褒められたのが嬉しくて、つい教室に通ってしまったことがきっかけで川柳を始めました。川柳は始めやすくて奥が深い。そこにはまる人が多いです。そんな川柳の楽しさを知っていただきたくて、平成７年に友人３人でデイ・グリューネンでの川柳ボランティア活動を始めました。

花束を受け取る三浦さん

Q. 川柳は難しいですか？

A. 言葉をたくさん考えなければいけないので難しさはありますが、それが脳の活性化に繋がります。難しい計算をするよりも脳が活性化するという研究もあります。

川柳教室のみなさん

この日は三浦さんのボランティア活動 20 周年をお祝いするため、デイ・グリューネンとすこやか倶楽部の参加者の方で企画した小さなパーティーが行われました。三浦さんは 30 年を次の目標に活動されるとのことです。すこやか倶楽部では、月に１回 10 名程度の方が参加をしており、随時参加者を受け付けております。

介護老人保健施設　コスモス

〒004-0069 厚別区厚別町山本1063－28　TEL：011-895-1110

ボランティア担当者の竹本さんにお話をお伺いしました。

担当職員 竹本さん

　コスモスでは、職員とボランティアさんとが気軽に接しているので、通いやすい雰囲気があり、そこがコスモスの魅力だと思っています。

　また、施設は公共交通機関では来づらい場所にありますが、可能な限りボランティアさんの送迎をしています。外部からボランティアさんに来ていただくことで、職員や利用者様にもハリが出るので、とってもいい刺激になっています。

ネコのポーチ

ボランティア活動者の奥田さん、黒澤さんにお話を伺いました。

ボランティアの奥田さん、黒澤さん

Q. どれぐらいの頻度でどのような活動をしていますか？

A. 毎週水曜日に２人で布、和紙、フェルトなどを使い利用者の皆さんと一緒に手芸をしています。２人とも 10 年以上ボランティア活動を続けています。

Q. どのようなことがやりがいになっていますか？

A.「今度何作るの？」と利用者さんに聞かれて楽しみにされていることが分かった時はすごく嬉しいです。ボランティア活動をしているようで私たちが元気をもらいにきています。ボランティア活動の日が近くなると毎回自然とわくわくし、ストレス解消にもなっています。

フェルトで作成したワッフル

平成27年度あつべつ区ボランティア入門研修を行いました

　９月 25 日～29 日に「あつべつ区ボランティア入門研修」を行いました。延 63 名の方が参加され、ボランティアの基礎や傾聴、災害支援、地域支援などについて楽しみながら学びました。厚別区社会福祉協議会では毎年ボランティア入門研修を行っております。興味のある方はお気軽にご相談下さい。

ボランティア活動をしてみませんか？

今回ご紹介した活動の他にも、社会福祉協議会では、各種ボランティアを募集しております。ボランティア活動に少しでも興味が湧いてきた方はぜひ一度ご連絡ください。ご希望に合ったボランティア活動をご紹介させていただきます。

お問い合わせ先　**厚別区社会福祉協議会　ＴＥＬ895-2483**